

医療安全情報 レポート

Vol.40

働くみんなの医療安全 患者と医療者のパートナーシップを意識しましょう！

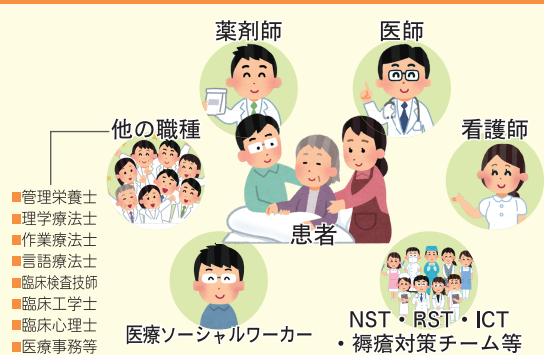
安全で質の高い医療サービスの提供は、医療者から患者への一方向的な治療ではなく患者が主体的に治療へ参加できることが重要です。患者と医療者がお互いに尊重し合い対等な協力者として治療を行うことを患者と医療者のパートナーシップといいます。

医療者は患者に対して「インフォームド・コンセント」「患者権利の尊重」「情報の開示」などが必要

ですが、患者も「健康に関する情報提供」「安全確保への協力」などパートナーとして責任を果たすことにより良好な協力関係を確立していくことに繋がります。

重要な情報は患者自身が持っています。患者を医療チームの一員と考え、お互いに尊重し合いより良いパートナーシップを築いていきましょう。

患者も医療チームの一員



医療者は患者に協力してほしい内容を具体的に伝えましょう

- 名前・部位・方法・薬剤・治療・検査内容等、医療行為のチェック機構になることを依頼する。
- 治療内容や方法、危険性等医療者が安全上気にしていることを伝える。
- 随時、適切な情報を正しく伝え、患者と共に考える。

パートナーとして患者が行うこと

- 医療に必要な患者自身の情報を適切に伝える。
- 患者自身が心配していることやケアに関する希望を伝える。
- 医療行為のチェック機構として、医療行為を確認する。
- 医療者へ情報提供を依頼する。

より安全で質の高い医療を実現するために患者を医療チームの一員として 安全推進活動に参加を促しましょう